

## 2018 年度事業計画書

## 1. 事業計画策定にあたって～収入、奨学金想定

## (1) トドックふくし基金サポーターの 2018 年～2020 年の募金想定

- ①2017 年度サポーター募金の指定正味財産期末残高は、(山口奨学金 500 万円と合わせ) 907 万円の想定です。
- ②これまで 2016 年 2 月、2017 年 2 月、8 月、サポーター募集チラシを入れた際は、登録人数が増えるとともに、1 人あたりの平均募金額も大幅に増えました。
- ③2018 年度サポーター募金は、2 回の募集チラシ投入し、月平均登録 10,530 人、一人あたり募金額平均 190 円を想定し、2,420 万円を予算化します。

サポーター募金	16 年 2 月	17 年 2 月	17 年 8 月	18 年 2 月想定	18 年 9 月想定
登録人数増	689	512	360	500	360
平均募金額増	140→159	161→174	177→184	185→190	185→190

## ■サポーター募集と 2020 年度までの人数、募金想定 (単位: 万円)

サポーター想定	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
2018 年 2 月想定 of 月平均人数	10,156	10,397	10,530	10,680	10,830
2018 年 2 月想定 of 募金額	1,950	2,232	2,420	2,590	2,670
※2017 年 2 月時の募金想定額	1,950	2,094	2,238	2,382	2,526
2018 年と 2017 年の募金額差		+138	+182	+208	+144

## (2) 2018 年度育英奨学生募集計画と 2018 年～2020 年の想定

奨学金給付額は、奨学生の採用を増やすと 3 年間増え続け収支に影響します。

- ①上記サポーター募金想定により、2018 年度から毎年 68 名 (内、山口奨学生 3 名) 採用を計画します。
- ②奨学金原資は、上記のサポーター募金と、第 1 号議案提案の 2018 年度期首残の山口奨学金 500 万円から毎年指定寄付金に振替えて充当します。

## ■ 2018 年度奨学生募集 (案) と 2020 年度までの奨学生募集想定 (内、山口奨学生 3 名)

注: ( ) 内は 2017 年 2 月開催の第 4 回理事会の想定数です。

奨学生	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
1 年生募集	60	68 (60)	68 (60)	68 (60)
2 年生	62	61 (60)	68 (60)	68 (60)
3 年生	43	61 (62)	61 (60)	68 (60)
奨学生合計	165	190 (182)	197 (180)	204 (180)
想定奨学生差	—	+8	+17	+24
奨学金計	1,980 万円	2,280 万円 (2,184 万円)	2,364 万円 (2,160 万円)	2,448 万円 (2,160 万円)
想定奨学金差	—	+96 万	+204 万	+288 万

## 2. 2018 年度事業計画

### (1) 障がい者及びひとり親家庭への奨学金支給事業（定款第4条（1））

#### 1) 2018 年度コープ育英奨学生採用計画

①2017 年度第 4 回理事会（2017 年 2 月開催）時点では、2018 年度サポーター募金額想定は 2,238 万円でしたが、現状 2018 年度 2,420 万円が想定できるため、採用数を 5 名増やし 65 名、山口奨学金を原資にひとり親家庭の高校生（公募）3 名を加え、採用合計は 68 名とします。

②高等支援学校生は 2018 年度新設がなく昨年と同じ 22 名とします。

③以上により、ひとり親家庭の高校生（公募）は 46 名となります。

④不登校生の募集表現は若干名とし、応募状況を勘案し育英奨学生選考委員会で一般採用と併せ答申し、2018 年度第 1 回理事会で決定します。

#### 2) 奨学金支給予算

奨学金は月額 1 万円とします（規則第 8 条：支給金額月額 5 千円～1 万円）。

支給金額は 190 名に 2,280 万円の前年度の 165 名 1,980 万円に対し 300 万円増になります。

#### ■採用・奨学生人数・給付額（単位：万円）注：（ ）内は不登校枠

奨学生	2015 年	2016 年	2017 年	18 年予算	前年差
ひとり親家庭(公募)	27 (2)	40 (3)	39 (2)	46 (未)	+7 人
高等支援学校生	19	21	22	22	0
採用 1 年生計	46	62	61	68	+7 人
1～3 年生計	122	145	165	190	+25 人
奨学金額	1,464 万円	1,740 万円	1,980 万円	2,280 万円	
前年差	+84 万円	+276 万円	+240 万円	+300 万円	

#### ■2018 年度奨学生（想定）。（ ）内は不登校枠の生徒

学年	ひとり親家庭の生徒	高等支援学校生	合計	2017 年	前年差
1 年生	46 (未)	22	68	61	+7
2 年生	39 (2)	22	61	62	▲1
3 年生	41 (3)	20	61	42	+19
合計	126 (5+未)	64	190	165	+25

注：高等支援学校生は、山の手養護学校・岩見沢・雨竜・美深・伊達・札幌市立豊明・新篠津・中札内・白樺・札幌・紋別・中標津・今金・小平・小樽・札幌稲穂・千歳高等支援学校、北海道札幌視覚支援学校・北海道高等聾学校、北海道札幌あいの里・北海道旭川高等支援学校、17 年度開校の「札幌市立札幌みなみの杜高等支援学校」を加え 22 校です。

#### 3) 奨学生、保護者等とのコミュニケーション

「育英奨学生通信」を年 4 回振込月（5・8・11・2 月）に発行します。

2 月に卒業生に記念品を贈呈し、卒業生感想文特集（5 月）に発行します。

#### 4) 2019 年度以降の育英奨学金事業の検討

コープ育英奨学金は 2014 年度まで 40 名前後を採用してきましたが、その後トドックふくし基金サポーター募金が順調に伸びたことを受け、2016 年度より 60 名採用（合計人数 180 名）に増加しました。

一方、高等支援学校は分校化など多様化が進んでいます。限られた財源の中、奨学金の配分（推薦依頼をする高等支援学校の範囲）についても、今年度議論していきたいと考えています。2019年度以降のひとり親家庭の高校生（公募）と高等支援学校生（推薦依頼）の募集人数について、10月開催の第3回理事会に答申します。答申は2019年2月開催の第4回理事会で2019年度育英奨学金事業計画に反映させます。

## （2）社会福祉施設及び福祉ボランティア活動等への助成事業（定款第4条（2））及び地域住民相互の助け合い活動への助成事業（定款第4条（3））

### ①地域福祉助成の予算

- ・ 地域福祉助成は600万円（前年同）とします。（当面、財団の収入増分は奨学金を優先し、地域福祉助成は据置きます）
- ・ 団体助成の募集は、45団体450万円（1件の上限10万円）です。
- ・ 活動助成の募集は、5団体150万円（1件上限30万円）です。
- ・ 定款上の区分の福祉助成金は400万円、助け合い助成金は200万円を想定します。
- ・ 尚、福祉助成審査委員会は応募状況と審査により、前記の各助成額を総額予算内で変更した答申を行う場合があります。

年度	団体助成		活動助成		合計	
	件数	金額（万円）	件数	金額（万円）	件数	金額（万円）
2014年	38	344	2	36	40	380
2015年	48	437	3	87.5	51	524.5
2016年	47	434.5	7	180	54	614.5
2017年	50	459	6	150.5	56	609.5
2018年	45	450	5	150	50	600

- ②4月21日開催の2018年度第1回理事会で2018年度地域福祉活動助成の募集要綱を議決します。
- ③2018年度スケジュールは、募集4/27～6/4 審査委員の事前審査6/18～6/30、委員長副委員長打合せ、7月21日助成審査委員会を開催し答申書作成します。
- ④7月21日開催の第2回理事会で贈呈先を議決します。
- ⑤8月2日（木）京王プラザホテルで2018年度福祉活動助成贈呈式・活動交流会を開催します。

## （3）社会福祉に関する調査・研究及び啓発事業（定款第4条（4））

### ①地域福祉等に関する講演会の開催

11～12月に貧困・格差・奨学金などに関するテーマで、コープさっぽろ組合員活動委員会と共同で講演会かフォーラムを開催します。

### ②広報啓発活動は、「ふくし基金だより」、「サポーター通信」を年2回（5・11月）発行します。

また、ホームページを更新し事業内容等のお知らせ、各種募集案内及び応募書式を掲載し、より多くのアクセスができるようにします。

### ③「北海道奨学金ネットワーク」の幹事団体・事務局として参加し、奨学金問題の情報や活動の交流を行い情報発信します。

## （4）東日本大震災被災者支援事業は、本年は行いません。

### 3. 2018 年度事業予算

#### (1) 経常収益（収入）

経常収益予算は 3,701 万円を計上します。内訳は下記の通りです。

- ①基本財産運用益 480 万円、賛助会費は法人 370 万円・個人 28 万円で合計 398 万円、寄付は法人 200 万円、個人 3 万円で例年レベルを計上しています。
- ②2018 年度奨学金給付 2,280 万円と福祉助成金 400 万円の一部に充当するため、指定正味財産からの 2,620 万円を振替えます。うち、山口奨学金から 36 万円を充当します。

#### (2) 経常費用（支出）

経常費用予算は 3,660 万円を計上します。内訳は下記の通りです。

- ①事業費用は、奨学金給付が 190 名分 2,280 万円、地域福祉助成が福祉助成金 400 万円と助け合い助成金 200 万円の計 600 万円を計上します。  
広報啓発費用は 360 万円で、内訳はふくし基金だより 2 回発行 18 万円、サポーター通信 2 回発行 43 万円、講演会費用 109 万円、サポーター募集チラシ 2 回 170 万円等を想定しています。  
公益事業に関わる委託費として 138 万円を計上します。
- ②管理費用は、262 万円で会議費は 2 万円、報酬 34 万円、旅費交通費 26 万円、通信運搬費 70 万円、消耗品費 40 万円を計上します。  
法人会計に関わる委託費として 82 万円を予算化します。  
なお事務局 2 名の委託費は従事割合を勘案して公益会計と法人会計に配分しています。

#### (3) 当期経常増減額（収支）

- ①42 万円の黒字予算とします。
- ②公益目的事業会計は 77 万円の赤字、法人会計は 118 万円の黒字の予算とします。

#### (4) 指定正味財産増減の部

- ①期首残高は、2017 年度指定正味財産期末残高（想定）907 万円（うちサポーター募金分 407 万円、山口奨学金 500 万円）を計上します。
- ②サポーター募金の当期指定正味財産受入額は、募集チラシを 2 月・9 月の 2 回折込むことによるサポーター増を想定して 2,420 万円を計上します。
- ③一般正味財産への振替は 2,620 万円で、内訳はサポーター募金から 2,584 万円と山口奨学金から 36 万円です。
- ④当期の指定正味財産期末残高は 707 万円で、内訳はサポーター募金分 243 万円と山口奨学金 464 万円です。

#### 4. 2018 年度基本日程の件

(1) 理事会は 4 回開催します。

理事会	日時	場所
2018 年度第 1 回理事会	2018 年 4 月 21 日 (土) 午後 1 時 30 分	コープさっぽろ 北 12 条店 2 階会議室
2018 年度第 2 回理事会	2018 年 7 月 21 日 (土) 午後 1 時 30 分	
2018 年度第 3 回理事会	2018 年 10 月 20 日 (土) 午後 1 時 30 分	
2018 年度第 4 回理事会	2019 年 2 月 23 日 (土) 午後 1 時 30 分	
2019 年度第 1 回理事会	2019 年 4 月 20 (土) 午後 1 時 30 分	

(2) 評議員会は年 2 回開催します。

評議員会	日時	場所
定時評議員会	2018 年 5 月 26 日 (土) 午後 1 時 30 分	コープさっぽろ北 12 条店 2 階会議室
臨時評議員会	2018 年 10 月 27 日 (土) 午後 1 時 30 分	

(3) 育英奨学生選考委員会の開催日

2018 年 4 月 21 日 (土) 午前 10 時～、コープさっぽろ北 12 条店 2 階会議室

(4) 地域福祉活動助成審査委員会の開催日

2018 年 7 月 21 日 (土) 午前 10 時～、コープさっぽろ北 12 条店 2 階会議室